

令和5年度 まつにし
進路だより

令和6年2月2日発行 vol.9
松橋西支援学校 進路指導部

校訓 **伸びよ 大きく**

ライフイベント盛りだくさん～次のライフステージへ向けて～

令和6年がスタートしました。新たな一年の始まりを迎えた1月1日に、石川県では能登半島地震に見舞われました。遠く離れた地であっても、熊本地震を経験した私たちは被災された皆さんの生活が一日でも早く復旧することを願うばかりです。改めて日々の平穏なくらしの有難さや幸せを感じるところです。さて、3学期を迎え、卒業学年



の教室には卒業までのカウントダウンカレンダーが見られるようになりました。その他の児童生徒にとっても、この時期は受験・進学、進級、卒業や就職など人生において大きな分岐点となるライフイベントがいろいろと控えています。次のライフステージに確実に進んでいけるよう体調管理とともに次の生活に向けての準備をしていってほしいと思います。

「冬休みの手伝い・家事紹介」

「冬休みの手伝い紹介」へのご協力ありがとうございました。今回も楽しみに読ませていただきました。普段から家庭で取り組まれていること以外にも、事業所の大掃除の手伝いなど家庭や学校以外の場所での様子の紹介もいくつか見られました。料理の手伝いでは、普段の食事づくりの手伝いのほか、ケーキづくりといった楽しみ、余暇にもつながる手伝いなどもありました。ごみ捨てる手伝いで捨てるはいけないものまで入れてしまった例など



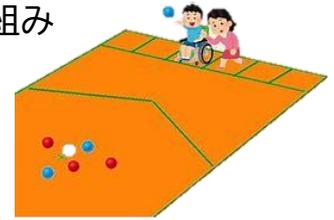
微笑ましくも奮闘している様子といったものもありました。なかにはうまく子どもに手伝いを促せなかったといったご家族の声も見られましたが、見様見真似でチャレンジする子どもの様子に成長を感じたといった声もありました。実際に子どもがお手伝いすることで、周りに一手間増やすこともあるでしょう。

しかし、その子どもにとっては家族や大人から何かを「任せられた経験」と「感謝された経験」となり、将来働く上で必要な責任感や自主性、自己肯定感を育むためにとても豊かな経験となります。小、中、高と手伝いや家事を通じてはたらく力、くらす力を高めていってほしいと思います。



キャリアアップウィーク2月は「やってみよう」です！

1月のキャリアアップウィークは「ボッチャを楽しもう」でした。期間中は児童生徒会の役員選挙やスロージョギングウィークなど、様々な取り組みが行われていましたが、各学部ホールや廊下などで気軽にボッチャのボールを投げるスペースを設けました。昨年は、本校や分教室同窓会でボッチャの体験会や大会を開催しました。卒業後も楽しめる活動の一つとなっていければと思います。



2月のキャリアアップウィークは「やってみよう」です。現在楽しんでいることややってみいたいことなど、余暇について啓発していきます。一人で楽しめるもの、人と繋がれるもの、場所や道具が必要なもの、休日に思いっきり楽しむものから、ちょっとした待ち時間にできる息抜きなどいろいろあると思います。また、気持ちが落ち着く活動や一人で待てる・過ごせる活動があると、集団活動への参加や福祉サービスを利用

★余暇活動 たとえば…



用する際にも強みになります。最近はスマホやタブレットでの動画視聴やゲームも手軽で場所もとらない余暇の一つとしてよく聞きますが、様々なアプリを利用した学びや訓練、興味関心を広げるといった活用法も積極的に使えらるとさらに充実を図れます。今後、児童生徒や卒業生の方々がどんな余暇を楽しまれているかご紹介できればと思っています。

主権者教育と児童生徒会役員選挙

障がいの有無にかかわらず、誰も与えられる権利の一つとして選挙権があります。18歳が成人年齢となり、高等部在学中に実際に投票に行く生徒もいます。1月12日には、本校高等部で宇城市の選挙管理委員会の方をお招きして模擬選挙を行いました。学校職員二人の候補者による熱い演説が繰り広げられ、生徒たちもそれぞれの公約を良く聞き、自分で記入したり、代理投票を依頼したりして投票することができました。投票とは元をたどれば、自分が好きな方を選ぶ・それを誰かに伝えることだと思っています。そのような場面は子どもたちの日常生活にもたくさんあります。活動を選ぶ、時間を選ぶ、場所を選ぶ、色を選ぶ、料理を選ぶ、人を選ぶ…、そのような経験を積み重ねていくことで将来主体的な投票や進路の自己選択・自己決定にも繋がっていくと思います。自分の思いを様々な方法で周りに伝え、自分もつ権利や役割を果たせる大人になってほしいと思います。

